訪 問 介 護 計 画 書（記入例）

【記入例】架空の利用者・事業所です。実在の人物・事業所とは関係ありません。書き方を示す例で、個々の利用者への助言ではありません。

■ ① 訪問介護計画書（指定居宅サービス等の基準 第 24 条）

作成: サービス提供責任者 ／ 説明・同意: 利用者・家族 ／ 交付: 利用者

対象: 要介護の方への指定訪問介護（要支援の方の訪問型サービスはこの様式の対象外です）

▼ 基本情報

利用者氏名	**山田 花子（架空）　様**
生年月日／年齢	昭和 17 年 3 月 5 日（84 歳）
性別	□男 ■女
要介護度	□要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5
認定有効期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日
住所	○○市△△町（記入例のため番地は省略）
家族構成	ひとり暮らし。長女が別の市に住み、週末に来る
緊急連絡先	長女（記入例のため電話番号は省略）／続柄：長女
主治医	△△内科クリニック／内科／TEL：記入例のため省略
居宅サービス計画（ケアプラン）	作成日：令和 8 年 9 月 14 日 ／ 居宅介護支援事業所：□□居宅介護支援事業所
作成日	令和 8 年 9 月 28 日
作成者	サービス提供責任者：鈴木 一郎（架空）
ケアマネジャー	高橋 次郎（架空）（事業所：□□居宅介護支援事業所）

▼ アセスメント結果（ADL/IADL/認知）

ADL	**入浴は一部介助（浴槽の出入り）、屋外の歩行は見守り。ほかは自立**
IADL	調理・掃除・買物は一部介助 ／ 洗濯・服薬は自立
認知症	診断なし（記入例）
既往歴	高血圧（記入例）
服薬	朝食後に 1 回（本人が管理）
アレルギー	□食物 □薬 ■なし
住宅環境	■段差 ■手すり □浴室改修 □ベッド導入

▼ ニーズ・課題・目標

本人ニーズ	**「お風呂は自分で入りたい。この家で暮らし続けたい」**
家族ニーズ	長女：「入浴中に転ばないか心配。食事がかたよらないようにしてほしい」
生活上の課題	浴槽をまたぐときにふらつく。夕食の用意がつらく、簡単なもので済ませる日がある
目標（長期）	令和 9 年 3 月までに：週 2 回の入浴を、不安なく続けられる
目標（短期）	3 か月以内に：洗身の手順を職員と確認し、洗う動作の大半を自分で行える

▼ 具体的なサービスの内容（曜日・回数ごと）

※1 日に複数回訪問する日は、同じ曜日の行を分けて書きます。

曜日	時間帯	サービス種別	具体的なサービスの内容	実施者	所要時間
月	9:00〜10:00	■身体介護 □生活援助	洗身の見守りと背中・足の介助、浴槽の出入りの介助、更衣、後片づけ	訪問介護員	60 分
月	17:00〜17:30	□身体介護 ■生活援助	夕食の調理（献立は本人と決める）、配膳、後片づけ	訪問介護員	30 分

火	9:30〜10:15	□身体介護 ■生活援助	居室と台所の掃除、洗濯、ごみの分別	訪問介護員	45 分
木	9:00〜10:00	■身体介護 □生活援助	洗身の見守りと背中・足の介助、浴槽の出入りの介助、更衣、後片づけ	訪問介護員	60 分
木	17:00〜17:30	□身体介護 ■生活援助	夕食の調理（献立は本人と決める）、配膳、後片づけ	訪問介護員	30 分
土	10:00〜10:45	□身体介護 ■生活援助	日用品の買い物（本人の希望を聞いて品物を選び、代行して購入）	訪問介護員	45 分
合計					週 270 分

▼ 留意事項・緊急時対応・実施状況の把握

・転倒注意事項：浴室の床がぬれているときは、浴槽をまたぐ前に必ず手すりを持ってもらう

・服薬時の注意：朝食後の薬は本人が管理している。夕方の訪問時に飲み忘れがないか声をかける

・食事形態：常食

・緊急時の連絡先（連絡する順）：①長女　②ケアマネジャー　③主治医

・実施状況の把握（第 24 条第 5 項）：把握した日・方法 令和 8 年 10 月 9 日、訪問時に入浴の様子を見て本人に聞き取り／計画の変更 ■なし □あり（変更日：　年　月　日）

▼ 説明・同意・交付（第 24 条第 3 項・第 4 項）

説明日	**令和 8 年 9 月 29 日 ／ 説明した人：鈴木 一郎（架空）**
同意日	令和 8 年 9 月 29 日
交付日・受け取った人	令和 8 年 9 月 29 日 ／ ■利用者本人 □家族（続柄：　）

上記の計画について、利用者及び家族に説明し、同意を得ました。

サービス提供責任者	**氏名：鈴木 一郎（架空）　印**
利用者	氏名：山田 花子（架空）　印
家族（代諾）	氏名：（記入例のため省略）　続柄：長女　印